

《初任科生の訓練風景》

初任教育では、新規採用職員等に対し、消防職員としての職責を自覚させるとともに、消防業務上必要な基礎的知識及び技術の修得と体力の錬成を図ります。

○訓練礼式

礼節を明らかにし、規律を正し隊員の品位の向上を図るとともに、和衷共同して隊員の団結を強固にするよう訓練します。



○機器取扱訓練

消防活動に必要な器具（エンジンカッター、空気呼吸器、三連はしごなど）の取扱いを学ぶ訓練です。



○消防活動訓練

消火活動に欠かせないホース延長、放水活動及び人命救助に必要な検索救助技術を学ぶ訓練です。



○救急訓練

救急活動に必要な止血法、固定法、気道確保、心肺蘇生法、AED の取扱いを学ぶ訓練です。



○救助訓練

ロープの結び方(ロープ結索)、高所への進入(ロープ登はん)、ロープを渡ること(ロープ渡過)、降下する方法(懸垂降下)などを学ぶ訓練です。



○視察研修

消防職員として最も必要な学生達の団結を強固にすること及び士気の高揚を図ることを目的としています。



○応用訓練

これまでに学んだ、技術及び知識を生かした実践的な訓練を行い、学生の消防活動能力の向上を図ることを目的とする訓練です。



○実科査閲訓練

卒業前の集大成として、所属消防（局）本部の消防長や家族を招いて、訓練成果を披露します。

